

※詳しくは圖に問い合わせください。

春は行楽の季節
食中毒にはご注意ください

遠足、運動会やハイキングなど、お弁当を作ったり屋外で食事をしたりする機会が多い季節になりました。気温が高くなると食中毒が起りやすくなりますので、食品の取り扱いには注意が必要で、衛生的な取り扱いに心がけてください。

【お弁当を作るとき】

- 必ず食べる当日に作る
- 作る前、食べる前にはよく手を洗う
- 食品は中心部までしっかりと加熱し、十分に冷ましてから清潔な箸で弁当箱に詰める
- 涼しい所で保管し、早めに食べる
- 食べ残しは、思い切って捨てる
- 「バーベキューなどのとき」
- 生肉と野菜は別々に盛り付ける
- 肉は、中心部まで加熱して食べる
- 「生肉を焼くときの箸」と「焼けた肉を食べるとき」の箸は区別する
- 「ハイキング、魚釣りのとき」
- 有毒植物やフグなどの自己

宝くじ助成事業でコミュニティ掲示板を設置

万田中央地区、井手川地区内にアルミ掲示板4基を設置しました。コミュニティの健全な発展を目的としたコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成を行うものです。両地区の今後の活性化が期待されます。

図 宝くじ助成事業でコミュニティ掲示板を設置
63・13395

国保加入者に人間ドックの助成を行います

国民健康保険に加入している特定健診対象者（40歳～74歳）で、平成30年度に人間ドックを受診した人が結果票の写しを提出すると、3,500円の助成が受け



然毒による食中毒が毎年発生しています。見慣れない野草やフグなどの素人での調理はしないようにしてください。

●食中毒に関する情報は厚生労働省ホームページをご覧ください。

図 有明保健所衛生環境課
72・2184

「男女共同参画相談室」のご案内

4月から、女性総合相談室は「男女共同参画相談室らいふ」に変わりました。性別にとらわれない自由な生き方と人権を尊重した総合相談窓口として、人生の岐路にある人、生きづらさを抱えている人、人間関係や暴力行為に悩んでいる人などのあらゆる相談をお受けします。利用は無料、プライバシーは守られます。

【所在地】 県庁新館4階男女参画・協働推進課内
※土曜のみ、テトリアくまもと9階くまもと県民交流館内（熊本市中央区手取本町8・9）
63・3333・2666
（土曜のみ左記へ）
63・3555・2223

られます（1人につき年度内に1回）。
●特定健診対象者がこの申請で情報提供した場合、特定健診を受診したことが同じ扱いになります。助成を希望する人はお手続きください。

●受付期限
平成31年3月29日（金）
※平成31年2～3月に受診した人は、受診してから2カ月以内に提出してください。

●申請方法
健康生活課国保年金係
63・1327
●持ってくるもの
人間ドック結果票、保険証、印鑑、振込用通帳、質問票兼同意書
図 健康生活課国保年金係
63・1327

罹災証明書の受け付けを終了します

熊本地震に関する「やむを得ない場合」での罹災証明書の受け付けを継続していましたが、地震発生から2年が経過するため、5月31日（木）をもって終了します。図 63・13395

【電話相談】 月・火・木・金・土曜の午前9時30分～午後3時30分（火のみ午後7時30分まで）※面接相談は右記の時間内で予約制
【法律相談】
毎月第3土曜日の午後1時～午後3時15分 ※予約制
【休日】 水、日、土曜を除く
祝日、12月29日～1月3日
図 総務課男女共同参画推進室
63・1139

荒尾干潟フォトコンテスト審査結果を発表

県内外の46人から197点の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。

【自然・風景部門】
●最優秀賞
大平輝吉氏（荒尾市）
「夕陽に背を向け」



●優秀賞
荒木研二氏（大牟田市）

兼行貞喜氏（大牟田市）
●入選
月田博文氏（荒尾市）
世良滋子氏（熊本市北区）
右田浩之氏（荒尾市）
佐藤誠治氏（荒尾市）
黒田知美氏（荒尾市）
【営み・取組部門】
●最優秀賞
赤星恭介氏（玉名市）
「共に生きる」



●優秀賞
村中猶田規氏（荒尾市）
金子昭義氏（大牟田市）
●入選
藤崎聖二氏（大牟田市）
松田久雄氏（荒尾市）
福田信雄氏（荒尾市）
木下保之氏（熊本市北区）
豊島正氏（荒尾市）
図 環境保全課環境企画調査係
63・1386

平成30年度 永年無事故表彰の申請受付中

●対象
荒尾地区交通安全協会の会員で10年、20年、30年、40年間無事故の人

●受付場所

荒尾地区交通安全協会（荒尾警察署内）

●申請締切 5月31日（休）

●申請に必要なもの
運転免許証、印鑑

図 荒尾地区交通安全協会
68・4949



漏水調査にご協力を
お願いします

市内全域で漏水調査を行います。昼間は各家庭のメーター（量水器）を調査し、夜間は路上を調査します。調査員は写真入り身分証明書を持参し、腕章をつけています。調査料金の請求や商品などの販売は一切行いません。不審に思ったときは、問い合わせください。
●期間 5月～平成31年3月
●対象 市内全域
図 企業局お客様センター
64・3321

5月は市政を考える月です。



「まちづくり提案箱」、
「出前講座」を活用しませんか

【まちづくり提案箱】

皆さんからの意見や要望を市政運営に反映させるため、まちづくり提案箱を設置しています。設置場所は、市役所玄関前、中央公民館、エポック荒尾、文化センター、市民サービスセンター（あらおシティモール2階）の5カ所です。備え付けの用紙の他、任意の様式でも提出できます。最寄りのまちづくり提案箱へ入れる他、郵送などでも提出できます。

意見を提出するときは、氏名、連絡先（住所、電話番号）の記入をお願いします。回答を希望されない場合を除き、原則、回答します。

平成29年度は、44件の意見、提案などを頂きました。

●郵送の場合の提出先

秘書広報課 広報広聴係 〒864-8686
（住所不要）荒尾市役所秘書広報課広報広聴係

【出前講座】

市職員を講師として派遣する出前講座を行っています。市の取り組んでいる事業や各種制度などを分かりやすくお伝えする講座です。今年度は、60種類の講座を用意しています。講座メニューの一覧は、市ホームページをご覧ください。図 63・1157

図 秘書広報課広報広聴係
63-1157



平成29年度は、107件の講座を実施しました。

＜実施回数上位の講座＞

- 1位 交通安全教室に伺います（25件）
- 2位 意外に身近な消費者トラブル（19件）
- 3位 荒尾市の防災や家庭でできる防災とは？（18件）

●申し込みできる人

市内に在住、在勤または在学している10人以上の団体やグループ

●開催時間や場所

平日の午前9時～午後9時、土日祝日の午前9時～午後5時の間の2時間以内。会場は市内とし、申込団体でご用意ください。

●申し込み方法

出前講座受講申込書に記入し、実施日の14日前までに受講希望講座の担当課に提出。ご希望の日時に添えないこともあります。申請前に担当課と日程の打ち合わせをお願いします。